

令和2年度 第2回石狩市文化財保護審議会

【日程】

1. 会長挨拶
2. 報告事項
 - 1) 令和2年度文化財保護事業について
 - ①資料館事業について
 - ②研究活動の状況について
 - ③教育普及活動の状況について
 - ④文化財関連事業について
 - ⑤旧石狩小学校の利活用について
 - 2) 新型コロナウイルス感染症対策について

いしかりの教育は
「こんにちは」から始めます。



石狩市教育委員会

※上の絵は、手話で「こんにちは」
を表しています。

2. 報告事項

1) 令和2年度文化財保護事業について

①資料館事業について

■新型コロナウイルス感染拡大による休館期間

令和2年4月16日～5月27日

■資料館入館者数（令和2年4月～令和3年3月15日現在）

いしかり砂丘の風資料館	999人（前年度1,963人）
はまます郷土資料館	562人（前年度 919人）

■団体の来館利用

学校関係	5件
公共機関	0件
その他	1件
計	6件

■講座

1月23日（土）30日（土）	
連続講座 石狩大学博物学部（5講座）	りんくる
体験講座	0件
野外講座	1件
講演・トーク等	1件
計	2件

■展示

4月 6日（月）～ 4月13日（月）	テーマ展 戦前の花畔	市役所ロビー
※令和元年度未予定だったが、コロナウイルス感染症の影響により延期		
5月 28日（木）～7月12日（日）	テーマ展 ガラス乾版に残された百年前の石狩・花畔	資料館
※コロナウイルス感染症の影響により延期		
7月18日（土）～ 8月30日（日）	テーマ展 石狩湾とウミガメ	資料館
9月 4日（金）～10月 5日（月）	テーマ展 石狩浜の百年記念塔	資料館
1月 4日（月）～ 3月31日（水）	資料館のお宝2020特別編 北生振の泥炭地と泥炭ストーブ	資料館
合計	5件	

■資料館ホームページ公開

開館情報、講座・展示のお知らせ、その他トピック等の情報発信 15回更新

■動画公開

石狩の自然・歴史に関する動画をインターネット（YouTube）で公開

- ・「いしかり鳥瞰図」（ドローン空撮。望来、浜益、黄金山）
- ・【予告編】800万年前にタイムトラベル！望来の地層と化石

■ ボランティアの育成、活動の推進

いしかり砂丘の風の会（6人、随時）

※コロナウイルス感染症の影響により活動中止

石狩ファイル編集委員会（8人、編集会議4回／年）

石狩ファイルのテーマ選定、執筆、編集

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、開催は3回（書面開催も含む）

ホネボラ（骨格標本製作ボランティア）（8人、随時）

石狩の脊椎動物（主に海生哺乳類）の死体を処理し、骨格標本を製作する。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、休止。

プロジェクトM（15人、月1回定期的に開催）

新たな「石狩遺産」の選定

令和2年度は既存の石狩遺産を広く周知するイベント等を開催する予定だったが、コロナウイルス感染症の影響で中止

作戦会議は9月より再開した

※「石狩遺産」をめぐるツアーの企画は中止

■ 他施設・他市町村等との連携活動

いしかり館ネットワーク

市の社会教育関連4施設が連携し、よりよい学習機会・情報の提供等を通してまちづくりを進めていくことを目的とする。

加入施設：石狩市民図書館、石狩浜海浜植物保護センター、石狩市公民館

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、休止。

CISE（ちせ）ネットワーク

科学系博物館・図書館の連携による実物科学教育の推進のためのネットワーク。札幌周辺地域（札幌市、石狩市、小樽市、北広島市）の教育施設が連携し、実物科学教育を進める。

主な加入施設等：北海道博物館、円山動物園、札幌市中央図書館、おたる水族館、北広島市エコミュージアムセンター、石狩浜海浜植物保護センター、他

事務局：北海道大学総合博物館

連携事業（主なもの）：

・CISEサイエンスフェスティバルの開催

・トランクキット（貸出・持ち運び可能なハンズオン標本・教材セット）の製作

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン会議の開催のみ。

ストランディングネットワーク北海道

北海道内における鯨類の座礁・漂着・混獲（ストランディング）調査の重要性を啓発し、その情報と標本を広く収集して一般市民・学術研究者に公表・配分することにより、海洋と鯨類に関する啓発と理解を深める。

主な加入施設等：酪農学園大学、帯広畜産大学、北海道博物館、国立科学博物館、他

事務局：北海道大学大学院水産科学研究院

・石狩市のストランディング調査、試料採取、情報提供

出動6回（ネズミルカ3件（3回）、ミンククジラ1件（3回））

北海道縄文のまち連絡会

全道の縄文遺跡のあるまちが集い、共に協力しながら縄文に学び、縄文の知恵を活かしたまちづくり策を探る。

主な加盟自治体：全道27市町村 事務局：伊達市

※新型コロナ感染拡大によりイベントは中止

■報道等（記事掲載、放送）

テレビ、新聞等 21 件

■はまます郷土資料館について

令和2年度に、はまます郷土資料館の石垣（階段）が壊れたため、修繕を行った。しかし再度破損したため、令和3年度に再度工事を行う。

また、史跡荘内藩陣屋跡大手門の老朽化で倒壊の危険があるため、令和3年度に陣屋研究会と協働で修復工事を行う。

②研究活動の状況について

■研究成果の公開

学会発表等

志賀健司 2020 石狩市生振地区の“碁盤の目”の方位。北海道自然史研究会 2020 年大会（オンライン開催）

工藤義衛，2021. 石狩川河口と弁天社。石狩市郷土研究会例会。

論文等

・論文・報告等

志賀健司，2020. 北海道石狩浜で 2020 年夏に見られたモモイロサルパの大量漂着漂着物学会誌，18：46。（査読あり）

工藤義衛・坂本恵衣 2021. 石狩市高岡五ノ沢神社について。いしかり暦（石狩市郷土研究会会誌），34：72-76.

・コラム等

志賀健司，2020. ホネなお仕事3つのおトク。コラムリレー06「学芸員のお仕事」第10回，北海道博物館協会学芸職員部会ホームページ。

坂本恵衣，2020. 宝探しと文書の解説。コラムリレー06「学芸員のお仕事」第17回，北海道博物館協会学芸職員部会ホームページ。

紀要の刊行

「いしかり砂丘の風資料館紀要」第10巻（2020年7月）

北海道石狩海岸林東部の融雪プールの水量とキタハウネンエビ発生状況の2007年～2020年の変動（志賀健司）

北海道日本海側に分布する「越前狛犬」調査概報（石橋孝夫）

石狩湾東部沿岸におけるウミガメ類ストランディングの記録（志賀健司）

新たに見つかった石狩川の2種の鮭漁具について（荒山千恵・石橋孝夫）

③教育普及活動の状況について

■広報いしかり連載「いしかり博物誌」（隔月連載、第 167-172 回）

- 167. ガラス乾板に残された百年前の石狩・花畔（坂本）
- 168. マスクは百年前から（石橋）
- 169. 石狩だけどチバニアン？（志賀）
- 170. アマビエのアルコール（工藤）
- 171. 泥炭地と泥炭ストーブ（坂本）
- 172. アイヌ語に由来する石狩市内の地名と植物-（荒山）

■「石狩ファイル」新ページ発行

- 169. 厚田油田
- 170. 茨戸油田
- 171. 石狩地震

■「科学の祭典 in 石狩」への参加

投稿動画部門「800 万年前にタイムトラベル！ 望来の地層と化石」

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、動画公開として開催

■講師派遣等

- 4月～8月 札幌国際大学人文学部講座「博物館資料論」（工藤）
- 5月10日 北海道博物館第 17 回企画テーマ展「楽器 見る・知る・考える」関連イベント講演会「音の考古学～出土品から楽器の源流を探る」（荒山）
※新型コロナ感染拡大により中止
- 7月23日 「石狩川河口で琥珀さがし」（いしかり海辺ファンクラブ）（志賀）
- 9月10日 石狩浜の環境学習／石狩浜の漂着物（講義）（石狩中学校）（志賀）
- 9月11日 石狩浜の環境学習／海岸ゴミ・漂着物の現地調査（石狩中学校）（志賀）
- 9月29日 石狩市民カレッジ「日本遺産について」（工藤）
- 9月～1月 札幌国際大学人文学部講座「博物館資料保存論」（志賀）
- 10月17日 「石狩浜の砂はどこから来た？」野外調査（神居古潭）（いしかり海辺ファンクラブ）（志賀）
- 10月31日 「石狩浜の砂はどこから来た？」まとめ（いしかり海辺ファンクラブ）（志賀）
- 5月～3月 あつた探遊会（坂本）※毎月第三金曜実施（古文書解読は隔月開催）

■研修受入

8月 初任段階教員研修（3年目研修）

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

④文化財関連事業について

■石狩市文化財保護審議会 開催状況

第1回 開催日 令和2年8月24日（月）
書面開催

第2回 開催日 令和3年3月29日（月）午後1時30分～
会場 石狩市役所 庁議室

■埋蔵文化財保護にともなう協議・調査等

周知の埋蔵文化財包蔵地の有無に関する照会：57件（3月15日現在）
埋蔵文化財保護に伴う事前協議：12件

■厚田区・浜益区文化財調査活用事業

ルーラン海岸・義経の涙岩のドローン映像の公開（あつた道の駅）

■石狩郷土研究会補助事業

石狩郷土研究会の運営費に対し補助金を支出した。
石狩市郷土研究会60周年記念事業「石狩市内校歌集」の刊行に補助金を支出した。

⑤旧石狩小学校の利活用について

校舎の利活用について「石狩小学校校舎利活用検討委員会」や一般からの意見を踏まえ、市役所内の関係部署との協議を進めた。また令和2年度から旧石狩小学校の校舎は文化財課の所管となった。令和3年度からは円形校舎の一般公開を実施することとし、公開、展示に向けた準備を進めた。一般公開は当面、予約制とし春から秋にかけての6か月程度を想定している。

2) コロナウィルス感染症対策について

新型コロナウイルス対策として、国の補助金を活用し館内の空調設備の更新を行った。また、来館者に対して、体調不良・発熱の確認、咳エチケットの遵守要請、手指の消毒の徹底（正面入り口、トイレ前の二ヶ所に消毒液を設置）、入館者が多い場合の入館制限を行った。

また館内の感染防止策として、券売機などの消毒、社会的距離の目安となるマークの設置、社会的距離をとるためイス等の制限、受付前にビニール設置、図書コーナー、販売コーナーの休止等を行った。職員の感染予防については体調管理の徹底、手指の消毒、マスクの着用を徹底した。

令和3年度は感染拡大状況を勘案して感染防止策の見直しを行い、中止していた缶詰製作体験、ハンズオン展示、解説資料の配布などの再開を検討する。

終わりが見えていないこともあり、令和3年度の事業等についても都度検討が必要と考えています。